

岡谷市に 議会は 必要か?

入場
無料

2024.10.3 18:30~
(Thu)
カノラホール 小ホール



第1部

基調講演 『人口減少・AI時代における議会の意義と役割』

～なぜ岡谷市議会には立候補者がいないのか～

講師 早稲田大学マニフェスト研究所顧問 北川 正恭氏

第2部

①パネルディスカッション 『岡谷市議会に18名は必要か?』

コーディネーター 早稲田大学マニフェスト研究所事務局長 中村 健氏

パネラー 議長+市民代表(2名)

②シンポジウム参加者との質疑と意見交換



岡谷市に**議会**は必要か？

2024年10月3日(木)

18:30～20:30(18:00開場)

カノラホール 小ホール

目的

岡谷市議会における定数割れという事態を踏まえて、地方自治における議会の意義と議会を構成する議員の役割とに基づいた『岡谷市議会のあり方』、特に今回のシンポジウムでは岡谷市議会の『議員定数』に関する意見交換と議論を深めることを目的とする。



第1部 基調講演

『人口減少・AI時代における議会の意義と役割
～なぜ岡谷市議会には立候補者がいないのか～』

■講師 早稲田大学マニフェスト研究所顧問 北川 正恭氏
(講演内容)

- ・これからの地方自治における議会の意義と役割
- ・これからの地方議会における議員の役割
- ・岡谷市議会における定数割れの状況 等

第2部 ①パネルディスカッション

『岡谷市議会に18名は必要か?』

■コーディネーター

早稲田大学マニフェスト研究所事務局長 中村 健氏

■パネラー 議長 + 市民代表(2名)

②シンポジウム参加者との質疑と意見交換

※シンポジウム終了後、アンケートにご協力をお願いします。

略歴(プロフィール)

北川 正恭 (きたがわ まさやす)

早稲田大学マニフェスト研究所顧問



1944年生まれ。1967年早稲田大学第一商学部卒業。1972年三重県議会議員当選(3期連続)、1983年衆議院議員当選(4期連続)。1995年、三重県知事当選(2期連続)。「生活者起点」を掲げ、ゼロベースで事業を評価し、改革を進める「事業評価システム」や情報公開を積極的に進め、地方分権の旗手として活動。達成目標、手段、財源を住民に約束する「マニフェスト」を提言。2期務め、2003年4月に退任。2003年4月より早稲田大学政治経済学術院教授。2015年3月に退任。現在、早稲田大学名誉教授、同マニフェスト研究所顧問。「新しい日本をつくる国民会議」(21世紀臨調)共同代表。2009年地域主権戦略会議構成員。2011年より相馬市復興会議顧問。2013年より長野県政策研究所チーフアドバイザー、新潟県構想検討推進会議顧問。

【著書】・生活者起点の「行政革命」著者 北川正恭／出版(株)ぎょうせい

・マニフェスト革命～自立した地方政府をつくるために～
著者 北川正恭／出版(株)ぎょうせい(平成18年11月)

・マニフェスト進化論
著書 北川正恭／出版(生産性出版)(平成19年1月)

中村 健 (なかむら けん)

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長



JR四国社員を経て、平成11年、27歳で徳島県川島町長に初当選。全国最年少の首長となる。町長を2期務めた後、平成16年に川島町を含む4町村が合併し吉野川市が発足するにあたり、地方自治の探求を目的に早稲田大学大学院公共経営研究科に入学する。早稲田大学マニフェスト研究所で研究員を兼務しながら大学院を首席で修了。修士論文は大隈賞を受賞。現在は、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長。早稲田大学政治経済学術院非常勤講師。地方政府研究所株式会社代表取締役。一般社団法人地域経営推進センター代表理事等。平成29年度より熊本市政策参与。令和2年度からは獨協大学法学部総合政策学科非常勤講師、大正大学地域構想研究所特別研究員、令和3年度から新たに崇城大学情報学科でも授業を担当。その後、外部評価委員に就任。その他、長野県政策アドバイザー、厚木市外部評価委員、山陽小野田市議会アドバイザー、取手市議会デモテック・アドバイザー、大津市議会広報広聴検討委員会アドバイザー、高森町まちづくり人材育成アドバイザーなど自治体の行政・議会の双方の活動を多数支援中。令和5年度からは大正大学でも地方の活性化に従事する。月刊ガバナンス(ぎょうせい)でも『議会改革シンカ論』を連載中。